

みんなのた場

サークル仲間 75

手芸サークル「大森コスモス会」

手芸を通して生きがい創出 笑顔広がる交流の時間

手芸サークル「大森コスモス会」(安達多久子会長)は、仮設大森第1〜4団地内で暮らす有志の皆さんが集まり、昨年7月に発足しました。

手芸という趣味を通して住民同士の交流を深めるとともに、仮設団地での良い思い出づくりをすることが目的です。会員は現在18人で、60〜80代の女性たちで構成されています。

毎月2、3回ほど団地内の集会所に集まり、つるしびなやお手玉、ティッシュユカパー等を作ります。未経験者もい

れば、手芸歴50年以上という大ベテランの方もいます。会員同士で教え合いながら2時間ほど取り組みます。作業を終えた後のお茶っこ飲みも醍醐味で、世間話に花を咲かせる皆さんの顔には、自然と笑顔が広がります。



▲手仕事とおしゃべりでいつも楽しく活動する会員の皆さん

長年住み慣れた土地から離れて、新しい場所で生活している仮設住宅の入居者の中には、周囲に馴染めず引きこもりがちになってしまっている人もいます。

会長の安達さん(79)は「このサークルが、自宅にこもりがちの人たちにとって外部と接するきっかけになればいいと思っています。手芸を楽しみ、お茶を飲み、交流しながら絆を深める。それが私たちの生きがいの一つになっていきます」と語っていました。

健康コラム 石巻市立病院

第7回 思い出

石巻市立牡鹿病院 副院長 猪原 正史

15年ほど前、大学病院で研修中、くも膜下出血の女性が搬送されてきました。くも膜下出血とは脳卒中の一つで何の後遺症もなく退院することもあれば命を落とすこともある病気です。

脳卒中は火事のようなものです。台所が焦げる程度のボヤもあれば、町中が焼けるような大火災もあります。くも膜下出血とは少し違いますが、脳梗塞は症状が無くとも「無症候性脳梗塞」と診断されることがあります。ボヤ以前と思われるかもしれませんが無視してはいけません。

この方は50歳代でしたが来院時は意識状態も悪く気管内挿管となり程なく人工呼吸となりました。御主人は死に物狂いでした。

「助けてください!死にたくないと言いながら意識を失っていったんです!」
問診

「持病はありましたか?」「高血圧です」

「治療はしていましたか?」「いいえ、していませんでした」

脳卒中も心筋梗塞もその背景には大抵生活習慣病がみられます。生活習慣病は数字で示され、痛くも痒くもないものですが「症状が出る」時は血管が破綻する時です。脳や心臓は目立ちますがそもそも血管の無い臓器はありません。件の方は不幸な転機となりました。

毎日の暮らしが将来に反映します。

ご自愛ください。

☆次回9月1日号は週1回、体重計に乗りましょう!です。

◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとおきの話しをお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課までお送りください。

掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等スペースの関係上、投稿いただいたものを全て掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

問 秘書広報課(内線4023・4025) 〒986-8501(住所不要)

✉ ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

キラッとパチリ

笑顔あふれる石巻へお手伝い



管財課

横山京子さん
東京都文京区から派遣



保険年金課

小路左季さん
大阪府枚方市から派遣

震災直後から「被災地のお役に立ちたい」と思い続けてきたという横山さんは来年3月までの1年間、管財課で契約業務などに従事します。

千葉県房総半島の最南端に位置する白浜町で生まれ育ちました。漁業が盛んな古里では「どれ、いぐべ」「こつこつうすつから」などの浜言葉があります。石巻市の方言と非常に似ているので親近感を覚え「笑顔で語ります。小路さんは昨年4月から

今年9月まで1年半の任期です。兵庫県伊丹市出身で「阪神・淡路大震災では多くの方に助けていただきました。その恩返しで業務に励んでいます」と話します。大型木管楽器のファゴットが趣味で、現在、石巻市民交響楽団のメンバーとしても活動をしています。「市民の皆さんの優しさに触れることで、こちらが元気をいただいています」と公私にわたる交流で充実した派遣生活を送っているようです。

まちの話題



石巻地区

6月7日(土)・8日(日)
石巻まちなか復興マルシェ

オープン2周年 いしびよんたちもお祝い

石巻まちなか復興マルシェのオープン2周年を記念した「感謝フェスティバル」では、各店が謝恩セールを行ったほか、ステージショーや餅つき大会等で盛り上がりました。また、いしびよんずをはじめ県内外からご当地キャラクターたちもお祝いに駆けつけ、子どもたちと一緒にクイズ大会や握手会等を通して楽しい時間を過ごしました。

石巻地区

本格的復活後 初のサン・ファン祭り



5月24日(土)、25日(日)
サン・ファンパークとサン・ファン館

慶長遣欧使節出帆400周年記念事業「第21回サン・ファン祭り」が、2日間にわたり行われました。サン・ファン・パウティスタ号とサン・ファン館は昨年秋に完全復活しており、震災後初めての本格的なイベントになりました。来場者は仙台藩士会の演武や小中高生の演奏等の迫力のパフォーマンスを楽しんだほか、会場に並んだ各種出店で地元の料理を味わい、会場は終日にぎわいました。